



まちの安全のために

邑楽消防署



邑楽中学校 2年
栗原大阿さん

兄が消防署の職場体験をして話を聞いていたので、希望しました。消防署では、消防車両や資機材の使い方、救命講習、救助訓練などを教わりました。中でも筋トレや敬礼は、大変でした。また、実際に水を出して放水をさせてもらったのですが、圧力がすごくて重かったです。まだ、将来のことはわかりませんが今回の職場体験はいい参考になりました。



図書館のことが知りたくて

町立図書館



邑楽中学校 2年
松本祐美さん

町立図書館をよく利用しています。図書館の裏側が知りたくて希望しました。ふだん見ているのとは違い、実際自分が図書館の仕事をしてみるととても大変でした。貸し出した本を元の棚に戻すとき、一度にたくさんの本を運ばなくてはならないので一苦労しました。将来の職業はまだ決めていませんが、今回の職場体験学習はいい経験になったと思います。



ものづくりがしたくて

黒田建築



邑楽中学校 2年
舟木達也さん

ものづくりが大好きなので、大工の仕事を体験できる職場を希望しました。祖父と父が大工の仕事をしているので、小さいころから後ろ姿を見てきました。ですから、大工の仕事を体験できたので本当によかったと思います。また、仕事の大変さを知ることができ勉強になりました。将来の進路は決まっていますが、ものづくりのできる仕事に就きたいです。

将来の選択基準となる貴重な経験
みんなの可能性、無限大。

知った。 学んだ。 体験した。

10月21日～22日、町内外の48事業所で邑楽中学校2年生171人が職場体験学習を行いました。職場体験学習は、働くことの意義や目的の理解を深め、新たな自分を発見できる場であるとともに、「学び」を支え「生き方」を主体的に考える機会でもあります。今回、6か所の事業所で職場体験をしている生徒たちにインタビューをしましたので、そのレポートをお届けします。

邑楽中学校職場体験学習

Interview

邑楽中学校 中山隆二校長

社会人・職業人としての基礎を学んでほしい

本校では、総合的な学習の一環として職場体験学習に取り組んでいます。学校を離れ、事業所の皆様のご支援やご指導を受けながら、大人たちの中で学んだ2日間。社会人・職業人としての在り方や生き方を学び、自分の将来を考える貴重な体験をさせていただきました。また、大人たちとのコミュニケーションの中から、人間関係の大切さも学んできたと思います。体験を終え、学校に戻ってきた生徒たちからは、確実な成長のようすを見ることができました。

今後、生徒たちは、現実的な課題に直面し、生き方や進路を自らの意志と責任で選択しなければならぬ時が来るでしょう。そのとき、この2日間の体験を生かし、無限の可能性の中から自らの志すべき道を見つけてほしいと思います。最後に、お忙しい中にもかかわらず、生徒の将来を思い、職場体験学習を受け入れていただきました事業所の皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



小さいころから電車が大好きで、よく乗っていました。今回の職場体験では、車掌に出発のときの安全確認の合図を出したり、ドアを閉めるタイミングの合図を出したりととてもいい経験になりました。車掌や駅で仕事をするのが夢なので、この職場体験を通してますます興味がわきました。やっぱり将来は、地元の東武鉄道で働きたいと思っています。

邑楽中学校 2年

飯塚達郎さん



東武鉄道(榎館林駅)



駅で仕事がしたくて

幼稚園が職場体験学習の第一希望でした。子どもたちの元気いっばいの笑顔を見ると、みんなかわいくてやっぱり幼稚園で職場体験できてよかったです。私が黒板にウサギの絵を描いてあげたら、みんな喜んでくれたことが一番印象に残りました。今回の職場体験を通して、中野幼稚園で子どもたちとふれ合うことができたのでとてもいい経験になりました。

邑楽中学校 2年

廣田 茜さん



中野幼稚園



子どもの笑顔が大好き

郵便局を選んだ理由は、楽しそうな仕事の印象があったからです。実際に仕事を体験してみると、お客様に明るく元気にあいさつして、常に丁寧な接客をしなければいけないところが大変な仕事だと思いました。局長さんをはじめ職員の方々が、優しく仕事を教えてくれたので、本当に感謝しています。今回の職場体験は自分にとっていい経験になりました。

邑楽中学校 2年

岩崎有紗さん



中野郵便局



お客さんに丁寧な接客を